

2019年7月22日 第283号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

**参議院選 野党共闘 1人区 10人当選 改憲勢力 3分の2 阻止**

## 安倍 9 条改憲阻止にむけ 市民と立憲野党の共闘さらに強く！

7月21日投開票が行われた参議院選挙は、立憲野党が候補者を一本化した32選挙区で10人が当選し、市民と立憲野党の共闘の力を示すことができました。改憲勢力3分の2議席も阻止しました。与党の議席が改定数の過半数を上回り、安倍政権は「残された任期で憲法改正に当然挑んでいく」としていますが、憲法改正だけで与党に投票したわけではありません。立憲野党の共闘をさらに強め、市民とともに安倍改憲阻止のために奮闘することが求められています。

### 19日行動に1500人

参議院選挙の最終盤の7月19日夜、総がかり行動実行委員会は、国会議員会館前で「19日行動」を行い、1500人が参加しました。日本共産党の山添拓参議院議員、立憲民主党の大河原雅子衆議院議員があいさつしました。



総がかり行動実行委員会の福山真劫共同代表が主催者あいさつ。「参議院選で立憲野党の議席を3分の1以上にし、安倍改憲、暴走を止めよう。9月17日に日朝国交正常化交渉をめざした集会が行われる。参議院選真ただ中、憲法破壊、ウソ、ごまかしの安倍政権か、平和・民主主義、憲法を守る立憲野党を選ぶのか、改憲勢力3分の2を割らせるため奮闘しよう」と呼びかけました。

市民連合の広渡清吾さんは「過去2回の選挙で安倍政権に打撃を与えることができなかった。国民を言いくるめるのは簡単だと思っている。みんな怒るべきだ。安倍首相は、参議院選で憲法を議論する政党かしない政党かを問うていると言っている。ここで反撃しないでいつやるのか。32の1人区で大きく前進すれば、改憲構成が変わる。一人ひとりが無党派を獲得すれば根本的に変わる」と指摘しました。

年金引き下げ違憲訴訟原告団の馬場目トミ子さんは「女性差別が女性の低年金を構造的につくる。25条違憲とたたかっている。年金での生活はギリギリ、100年安心はどこへ行った。ずさんな政治はやめさせよう。頼れる年金、減らない年金が必要。参議院選で変えよう」と訴えました。

憲法共同センターの木下興さんが行動提起。「8月の19日行動は議員会館前で、戦争法強行成立から4年をむかえる9月の19日行動は、大規模に行う予定だ。イラン情勢が緊迫化した場合は、緊急に行動を行う。投票箱のフタが閉まるまでみんなで奮闘しよう」と呼びかけました。